

ほんごう



学校 HP

札幌市立本郷小学校
学校だより
令和7年2月28日
No. 12

帰宅時刻(11~3月)→16:30

相手を意識することの素晴らしさ

外国語専科 森 みづき

“Good morning. How are you?”

“Good morning. I’m good.”

授業の始め、元気よく挨拶を返してくれる子どもたち。廊下ですれ違ったときにも、“Hello.”

“See you.”など自分から声を掛けてくれる場面もたくさん見られます。

今年度はALTにエリザベス・キハラ先生を迎え、3～6年生の外国語の授業を行っています。日本に来て素晴らしいと感じたことや、出身国のケニアについてのお話に、子どもたちは興味津々で聞き入り、文化の違いに驚いている様子です。

5年生の外国語の授業で、「観光案内 CM を撮ろう」と課題を設定し、東白石小学校の5年生と、日本の魅力を伝える動画を見合う活動を行いました。最初は、早くCMを撮りたいと喜ぶ様子、自信がなく不安な様子、など反応は様々でした。しかし、グループで撮影の練習をしたり、動画を見せ合ったりするうちに、「ここで Nice!と言おう!」「何も見ないで言えるようになろう!」「もう一度撮りたいな。」と、自分たちの発表を、主体的により良いものにしようとする子どもたちの姿が見られました。

他にも、「エリザベス先生に自己紹介しよう。」「おすすめの文房具セットをプレゼントしよう。」「東白石小の6年生に中学校でしたいことを伝えよう。」など、「誰に対してするのか」を伝え、考えさせると、子どもたちの目がキラキラと輝きます。言えるようになるまで何度も練習したり、ジェスチャーを交えたこと、工夫を凝らす子どもたちの姿には、相手意識をしっかりと持ち、伝えたい、伝わってほしいという気持ちが表れていました。

生き生きと活動する子どもたちの姿から、外国語の授業が、相手に自分の話す英語を分かってもらえて嬉しい、自分の思いを聞いてもらって嬉しい、といった、コミュニケーションの楽しさを実感できる場であってほしいと思います。